

稼働環境

| | |
|--------------------|--|
| 開発言語 | JAVA Enterprise Edition |
| OS | Windows 2003Server Red Hat Linux Solaris |
| DBMS | Oracle10g |
| Application server | Oracle Application Server Web Sphere |



TRANS-AccountはWeb環境でご利用いただくシステムとなっております。JAVA言語で開発しているため、幅広いプラットフォーム上でご利用いただくことができます。

海運業会計システム

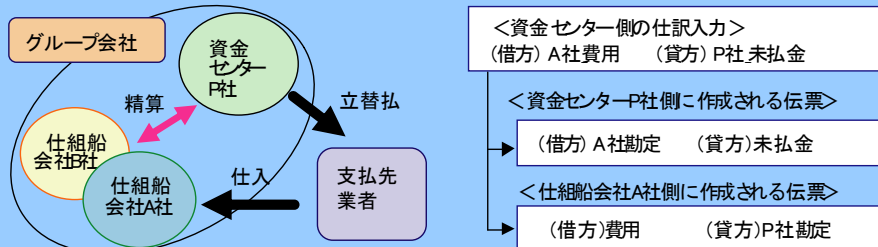


TRANS-Account

TRANS-Accountの主な特長

グループ会計

グループ会計機能は、グループ会社全体をあたかも1つの会計単位とした伝票入力が可能になります。仕組船会社の費用を資金センターが立替払いをする場合、資金センターが伝票入力すると、資金センターの伝票と仕組船会社の伝票が同時に作成されます。



管理コード別帳

例：船名や次航を管理コードとして設定し、収益や費用を計上すると、船舶別・航路別に損益計算書を出力できます。

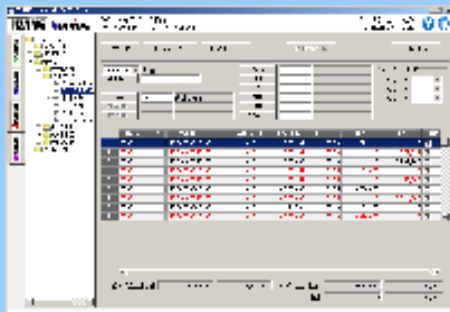
| 船名マスタ | | 次航マスタ | |
|-------|------|-------|------------------|
| コード | 名称 | コード | 名称 |
| X | AAA丸 | V100 | ATHENS-ROME |
| Y | BBB丸 | V101 | ROME-BARCELONA |
| | | V102 | BARCELONA-LISBON |
| | | V103 | LISBON-ROME |

| <借方> | | | <貸方> | | |
|------|----|------|------|----|------|
| 科目 | 船名 | 次航 | 科目 | 船名 | 次航 |
| 運航費 | X | V100 | 運賃 | X | V100 |
| 運航費 | X | V101 | 運賃 | X | V101 |
| 運航費 | Y | V102 | 運賃 | Y | V102 |
| 運航費 | Y | V103 | 運賃 | Y | V103 |

| 船名別損益計算書 | | | | 船名別損益計算書 | | | |
|----------|---|--------|-----|----------|---------|--|--|
| 船名 | X | AAA丸 | 船名 | Y | BBB丸 | | |
| 運賃 | | 60,000 | 運賃 | | 140,000 | | |
| 運航費 | | 40,000 | 運航費 | | 80,000 | | |
| 損益 | | 20,000 | 損益 | | 60,000 | | |

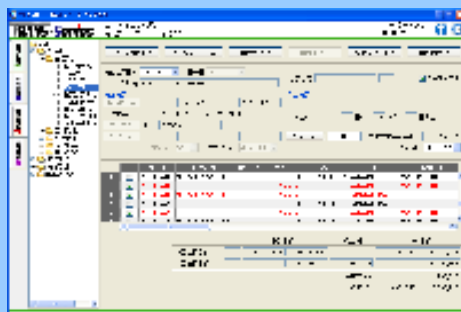
| 船名/次航別損益計算書 | | | | | | 船名/次航別損益計算書 | | | | | |
|-------------|---|------|----|------|-------------|-------------|---|------|----|------|----------------|
| 船名 | X | AAA丸 | 次航 | V100 | ATHENS-ROME | 船名 | X | AAA丸 | 次航 | V101 | ROME-BARCELONA |
| 運賃 | | | | | 40,000 | 運賃 | | | | | 20,000 |
| 運航費 | | | | | 15,000 | 運航費 | | | | | 25,000 |
| 損益 | | | | | 5,000 | 損益 | | | | | 15,000 |

画面サンプル (B/S勘定自動消込機能)



借方と貸方に計上された立替金や預り金を消し込めます。

画面サンプル (相殺精算画面)

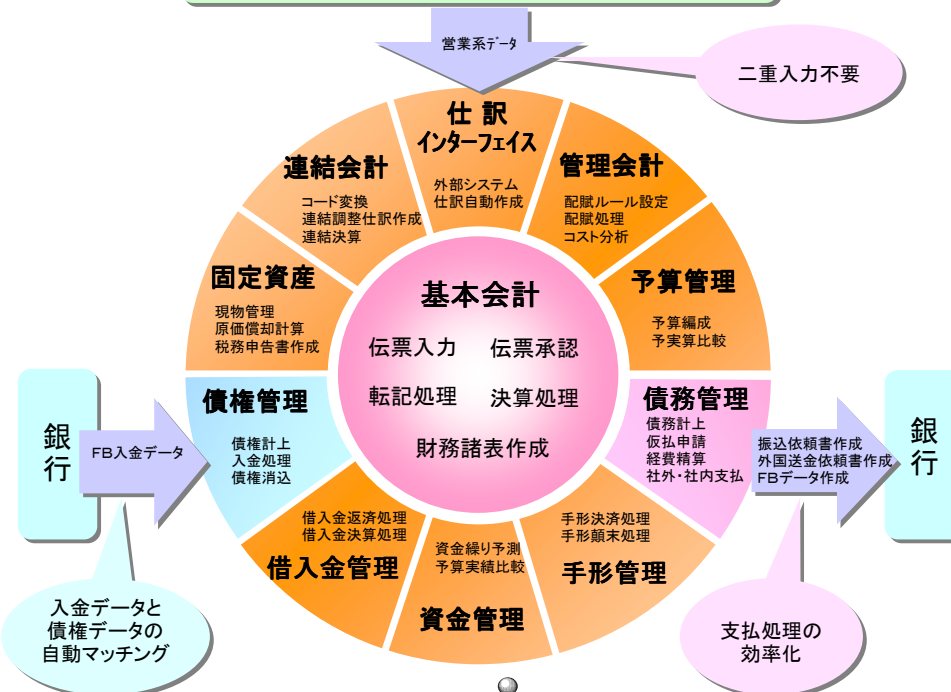


相殺したい取引科目を選択して実行するだけで精算後の残高を債権または債務として計上し、仕訳を自動作成します。

特徴

- ★船別・次航別など任意の切り口で運航損益を出力。
- ★航海完了・航海日割基準に対応した決算処理を自動化。
- ★船主や代理店との債権・債務の相殺機能により精算書を自動出力。
- ★外貨建て取引、在外子会社の会計処理に対応。期末の外貨建て債権・債務の評価替えを自動化。
- ★海運業で多発する立替金の期末管理を効率化。
- ★運航管理システムやNVOCCシステム、決算予測システム (TRANSシリーズ) とのシームレスな連携。

運航管理・NVOCCなどの上流業務システム



こんなお悩みをお持ちではありませんか？ TRANS-Accountが貴社のお悩みを解決いたします。

問題1. 立替金や未収入金の消し込み作業に多大な時間を要し、残高の把握が困難である。

解決1. 立替金や未収入金の顛末の管理を効率的に行えます。

①債権自動消込機能 (オプション) 銀行から取得した入金データを会計システムに取り込み、債権残高データと自動マッチングさせる(手動によるマッチングも可能)ことで、債権消し込み作業を迅速化することができます。また消し込み結果から入金消し込み伝票を自動作成することによって伝票入力作業もなくなります。

②B/S勘定自動消込機能 消し込み対象の科目が計上された仕訳データを借方、貸方にそれぞれ一覧表示し、取引先、船名、航路などのキーで自動マッチングできます(手動によるマッチングも可能)。マッチングできずに残った

問題2. 経理部での伝票入力作業の負荷が大きいため、発生部門で伝票入力させたいがうまく運用できるだろうか？

解決2. 経理知識のない経理部門以外のユーザーにも入力できる支援機能があります。

①仕訳パターン機能 頻繁に発生する取引をあらかじめ仕訳パターンとして登録できます。

②伝票複写機能 過去に作成した伝票そっくりコピーして伝票を作成できます。

③多言語機能 国際取引で必須の外国通貨管理機能と在外子会社会計に対応しています。また、外貨建て金銭債権債務の期末評価替処理も自動化しております。

④セキュリティ機能 会計システムへログインする際のパスワードによる認証チェックの他、ユーザーの権限に応じて会計情報へのアクセスを制限することができます。

問題3. 航路別や船舶別など様々な切り口での損益を把握したいが、結果を得るまでに時間がかかる。

解決3. 航路あるいは船舶毎の損益管理が行えるように豊富な管理会計機能があります。

①最大6種類の管理コード 会計取引データに科目、部門、取引先のほか、意思決定に必要な横断的切り口として、ユーザーが任意に管理コードを設定することができます。管理コード別に損益等を把握することができます。

②3種類の非会計項目 コード化されていない任意の文字情報、数値情報、日付を入力でき、契約番号、輸送量、発生日などをメモ情報として、あるいは会計取引データを使って2次加工を行う場合に便利です。

③部門階層別管理 任意の組織階層レベルで財務諸表等の比較・集計ができます(最大10階層の設定が可能)。

④複数の組織体系 組織体系を複数設定することにより財務会計目的の事業部組織による比較、管理会計目的の機能別組織による比較など様々な切り口による集計体系によって出力することができます。また期中の組織変更にも対応可能です。

⑤配賦機能(オプション) 配賦基準となるコストドライバー消費量を他の外部システムから取り込むことによりアクティビティ別工数をベースとした活動基準原価計算に対応できます。(オプション)

⑥仕訳自由検索 非定型な資料の提出を求められた場合にも、ユーザーが自由に検索条件を設定して会計データの中から必要な情報を抽出して、EXCELでグラフやクロス集計表を作成することができます。

開発元 株式会社 エイ・アイ・エス <http://www.a-i-s.co.jp>

- 本社 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-1-20 お茶の水ユニオンビル4F TEL. 03-5283-5515 FAX. 03-5283-5516
- 神戸営業所 〒651-0084 兵庫県神戸市中央区磯辺通4-1-38 タツミ三宮ビル6F TEL. 078-232-1111 FAX. 078-232-1166
- その他拠点 (山形開発センター、シンガポール支社)



問題4. 決算処理に多大な時間を要しており、決算の早期化を図りたい。

解決4. 決算の早期化のための機能があります。

①多段階決算機能 決算月は経理担当者のような一定の権限を持つユーザーのみ、月次締め後も決算伝票として入力できます。

②振戻伝票作成機能 繰延・見越などの経過勘定の計上を行う場合、翌期振戻し機能を使用することにより、自動的に逆仕訳が作成されます。決算仕訳の振戻し入力漏れを防ぎ、伝票入力作業の軽減を図ることができます。

③航海収支計算機能 航海完了基準・航海日割基準の両方に対応した航海収支の決算処理を自動化します。

問題5. 連結財務諸表の作成の際、子会社からの会計データの集計に手間取っている。

解決5. 複数会社統合管理機能によりグループ企業のシステムとデータベースを一元管理できるようになり、TCOを削減できます。(オプション)

①連結会計機能 個別会計で使用しているコードを連結会計用の統一コードに変換し、データを収集します。グループ会社間取引の自動相殺処理、連結精算表の入力、連結財務諸表の作成を迅速に行えます。

②子会社連結機能 親会社の連結決算に必要な会計情報をレポートニングします。基本会計(個別会計)で使用している科目コード、取引先コードなどの各種コードを親会社の連結決算用の統一コードに変換して、組替財務諸表を作成したり、グループ会社間取引を抽出して元帳に出力することが可能です。

問題6. 外航海運・国際複合物流業務等による外貨取引の処理が煩雑で苦慮している。

解決6. 外貨取引にも対応しています。

①外貨残高管理 取引入力時に通貨やレート、外貨金額、邦貨換算金額(自動変換)を入力しておくことで、勘定科目、通貨毎に外貨残高、邦貨残高及び為替差損益を把握できます。

②外国送金 外貨建債務の支払処理では外国送金依頼データを作成しファームバンキングシステムと連携することができます。

③外貨評価替 決算時には外貨残高を決算日レートに評価替えできるため決算処理を迅速に行うことができます。

問題7. 船主や代理店との立替金や備船料、代理店手数料などの精算に時間がかかっている。

解決7. 立替金の精算の機能があります。

①相殺精算機能 船主が負担すべき費用を立替払いしている場合に、備船料から立替金を差し引いて相殺することができます。相殺した債権・債務を選択して実行するだけで、精算書を作成し、処理結果の残高を債権または債務として計上し、仕訳を自動作成します。

問題8. 子会社の費用の支払業務を親会社が代行して行っているが、支払伝票の入力作業が面倒である。

解決8. グループ全体を1つの会計単位とした伝票入力ができます。(オプション)

①グループ会計機能 子会社の費用を親会社が立替払いする場合、親会社が伝票入力すると、親会社の伝票と子会社の伝票が同時に作成されます。伝票入力作業を軽減するとともに、子会社側の伝票入力漏れを防ぐことができます。